

岐阜県立 GIFU ACADEMY OF FOREST SCIENCE AND CULTURE

森林文化アカデミー



森と木の エンジニア科

2025年度 入学案内

対 象 高校卒業程度

修業年限 2年制

定 員 20名



現場から日本の森を元気に。



森と木の エンジニア科

『人』『場』『モノ』を活かした、現地現物主義の学び。
現場で自ら考え、行動できる「技術者」を目指します。

森を育て、木材を収穫する林業、伐りだされた木材を加工する林産業、これらは森林資源の持続的な利活用を担う重要な産業です。

森と木のエンジニア科の学びの目標は、「林業・林産業の多様な現場において、安全な作業条件を自ら確立しつつ、より経済性の高い生産を担う技術者になる」ことです。

1年生では、林業・林産業に関する基本的な知識と技能を学び、2年生になるとより専門的な林業と林産業の2つのコースに分かれ、2年間で、社会に出て活躍するための姿勢・能力をあわせて身に付けます。

育林

伐採

搬出

製材

建築

岐阜県立森林文化アカデミーの最大の特徴は、校舎のすぐ後ろに広がる33haもの「演習林」。「演習林」で造林し、計画的に伐採した木を搬出、製材・加工し、できた建材や木工製品などが暮らしに届く。「川上から川下まで」の流れを実感しながら林業を学ぶことのできる、全国でも唯一の学校です。同じ学内に大卒・社会人経験者の学科もあるので、森と木に関わる多くの世代の学生との友好関係ができ、「森林環境教育」「木造建築」「木工」という幅広い分野の教員から多様な学びを得ることもできます。

1年生の 学び

森林の基本的な知識を学び、多くの実習で現場技術を身に付ける

入学して1年目は林業・林産業をはじめ森林に関連する基礎分野を全学生が共通に学びます。

特色 1

森づくりの基礎を学ぶ

造林や測量、測樹に関連する各種の技術を、理論と作業を結びながら、学びます。



森づくり・植栽



測量

特色 2

樹木の生態を学ぶ

樹木の生理や生態に関する座学に加え、フィールドでの樹木同定や育苗、立地に関する実習を通して樹木の生態について学びます。



樹木同定



育苗

特色 3

林業機械や道具の基礎を学ぶ

ナタの刃研ぎからチェーンソー操作まで、安全かつ効率的な作業につながる技術を学びます。



ロープワークとぶり細



チェーンソー操作

特色 4

木材利用と流通の基礎を学ぶ

森の木が、原木から木材になり、人々の暮らしに入っていく、流通の現場を体験します。また、木造建築の木の使い方も学びます。



丸太からの製材



木造建築の計画

2年生の学び

2つのコースに分かれて
専門分野を学びます

林業コース

Forestry Course

山から木を出すまでの仕事

森林の実践的な管理技術や 安全で効率的な木材生産技術を学ぶ

1年生で学んだ基礎的な知識と技術をもとに、林業を担う技術者として必要な造林・育林の森林管理技術、伐採・搬出の木材生産技術、森林作業道の道づくり技術などを実践で学びます。



実際の現場で道づくりに挑戦する「森林作業道実習」



高性能林業機械スイングヤーダによる車両系木材伐出の特別教育



いま森にある問題に取り組む「森林被害」

特色 1 安全で効率的な林業を学ぶ

「スイングヤーダ」「フォワーダ」など高性能林業機械を操作し、木材生産の現場技術を学びます。

特色 2 より実践的な森林管理技術を学ぶ

広葉樹の森づくりなど、応用的な森林管理や、昨今社会問題となっている獣害対策など、様々な現場に対応するための技術を学びます。

在学中に取得できる資格

- 伐木等の業務に係る特別教育修了証
- 刈払機取扱作業員に対する安全衛生教育修了証
- 機械集材装置の運転の業務に係る特別教育修了証
- 伐木等機械の運転業務に係る特別教育修了証
- 走行集材機械の運転の業務に係る特別教育修了証
- 簡易架線集材装置の運転又は架線集材機械の運転の業務に係る特別教育修了証
- 林業架線作業主任者講習修了証(実務経験2年で主任者の免許を取得できます)
- 大型特殊免許
- 狩猟免許(わな猟)
- 不整地運搬車運転技能講習修了証
- フォークリフト運転技能講習修了証
- フルハーネス型墜落制止用器具取扱特別教育修了証
- 玉掛け技能講習修了証
- 車両系建設機械(整地等)運転技能講習修了証
- 小型移動式クレーン運転技能講習修了証
- ロープ高所作業特別教育修了証

卒業後の進路

素材生産事業者(造林育林含む)、森林土木会社、森林組合、造園緑化会社、森林系公務員など森林の育成や木材生産に関する高度な知識や経験を必要とする職種が、主な進路先です。
また、4年制大学への3年次編入と、大卒以上を対象とした森林文化アカデミーのクリエイター科への進学も可能です。

各地の森林組合、林業事業者、造園会社、林業機械関連会社、中部森林管理局、近畿中国森林管理局、関東森林管理局、岐阜県庁、長野県庁、栃木県庁、岐阜大学、信州大学、新潟大学など

林産業コース

Forest Industry Course

山から出してきた木を活用する仕事

木材の性質と付加価値を意識し 木造建築・加工・流通を学ぶ

林業が多くの産業と密接に繋がっていることを意識し、森林資源の活用を学びます。山から伐り出してきた原木を木材として利用するために材木の性質を学び、木材の付加価値を見出すために木造建築・流通・品質管理・製品加工を学びます。



「林産学課題研究」の発表会



製材した材の表面加工



木を活かす「大工入門」

特色 1 木材を理解し、木材利用を考える

木材の性質を理解し、木材の面白さや強みを活かした木材流通・木材加工などを学びます。

特色 2 手刻みからはじめる、木造建築

演習林の木で建てる「自力建設」と、木造に特化した高度で専門的な学びによって、木材を熟知した建築実務者を目指します。

在学中に取得できる資格

- 伐木等の業務に係る特別教育修了証
- 刈払機取扱作業員に対する安全衛生教育修了証
- 大型特殊免許
- 玉掛け技能講習修了証
- 狩猟免許(わな猟)
- 車両系建設機械(整地等)運転技能講習修了証
- 不整地運搬車運転技能講習修了証
- 小型移動式クレーン運転技能講習修了証
- フォークリフト運転技能講習修了証

取得を支援する主な資格

- 二級建築士(卒業後すぐに受験・実務経験2年で免許取得可能) ※所定科目を修了した場合
- 木造建築士(卒業後すぐに受験・実務経験2年で免許取得可能) ※所定科目を修了した場合

卒業後の進路

意匠設計事務所、構造設計事務所、工務店、製材加工業、木製品製造業など、木材の利用に関する高度な知識や経験を必要とする職種が、主な進路先です。
また、4年制大学への3年次編入と、大卒以上を対象とした森林文化アカデミーのクリエイター科への進学も可能です。

(有)Ms建築設計事務所、オークヴィレッジ(株)、(社)インク、(有)テクノプラン設計事務所、NPO法人WOOD AC、飛騨産業(株)、後藤木材(株)、柏木工(株)、親和木材工業(株)、白鳥林工協同組合、セブン工業(株)、名古屋造形大学、愛知大学など



杉山珠風さん (2020年3月卒業)

東濃ヒノキ白川市場協同組合

●どんな仕事を担当していますか？

自然が好きで、山の中で働きたかったのが今の会社を選びました。今担当している仕事は素材生産作業で、チェーンソーによる伐倒から、林業機械での集材、チェーンソーによる造材作業など、一連の作業を山で行っています。1本1本、木の特徴を捉えて伐倒、集材、造材を行うので、正解を求めていくのが楽しいです。

●アカデミーで得た学び

素材生産から製材、加工までの流れを体験できたので、川下を意識した仕事ができます。



山口祥平さん (2019年3月卒業)

合同会社 forest services

●どんな仕事を担当していますか？

最近、プロセッサで造材やグラッブルで仕分けを担当しています。また、プロセッサ以外にも高性能林業機械や集材機などの架線を使い、作業道を作るところから伐採、集材、造材、搬出までの一連の素材生産もやっています。

●アカデミーで得た学び

「林業機械やチェーンソーなどの道具などを大切に使うこと」です。道具を常に清掃やメンテナンスなどを行うことで道具や機械を大切にできるようになりました。また、重機などの日常点検や簡単なメンテナンス方法を学んできたので、今も作業前に点検やグリスアップなどして使うようになりました。



木藤直さん (2018年3月卒業)

中部森林管理局 飛騨森林管理署

●どんな仕事を担当していますか？

林野庁の機関である森林管理署で、国有林を管理する仕事をしています。国有林では、間伐を始めとする森林整備や治山事業により森林の持つ公益的機能の維持増進を図る一方、持続可能な資源としての森林を活用すべく、素材生産事業や造林事業を行っています。現在は土手を担当していて、林道の維持管理や新設・改良工事の監督等の業務を受け持っています。

●アカデミーで得た学び

特に記憶に残っていることは、伐木造材や作業道作設の実習です。今の職場でチェーンソーや重機のハンドルの握る事はほとんどないのですが、実際に現場での作業や手順を知っていることは、仕事を計画的に進めていく上で大きなアドバンテージになっていると感じています。



小森一史さん (2016年3月卒業)

岐阜県揖斐農林事務所 林業課治山係

●どんな仕事を担当していますか？

治山係員として、治山工事（溪間工、山腹工等）の施工管理や新たな現場の計画づくりを担当しています。

●アカデミーで得た学び

アカデミーの授業では、フィールドに出る機会が多くあります。そんな時、周囲の地形や植生などの状況を観察し比較できる感性を身に付けると様々な業務で役立つと思います。



宮森庸介さん (2021年3月卒業)

クリエイター科への進学を経て、NPO法人 WOOD AC

●どんな仕事を担当していますか？

構造設計や住宅調査、木材の活用につながる様々な活動を行っている会社で、構造実験と構造設計を担当しています。

●アカデミーで得た学び

構造力学や木材の性質についての授業が生きています。力学が分かれば、試験体に力を加えた際に、どこに大きな力がかかっているかが分かるようになります。また、節や目切れなどの材料としての弱点もあらかじめ知っておくと、どういったところで破壊が起きるか、破壊が生じたときに、なぜ壊れたかが見えてきます。



中村瑠偉さん (2020年3月卒業)

一般社団法人 インク

●どんな仕事を担当していますか？

耐震性や断熱性、劣化状態を把握するための建物診断や改修設計を行っています。伝統的な建物や、思い入れのある建物を健全に改修し未来へ残すため、日々精進しています。

●アカデミーで得た学び

多くの人と関わり、協力してプロジェクトを進めていく大切さを学べました。どんな仕事でも、自分一人を進めることはできません。多種多様な分野の知識を持つ人と話し、価値観を共有し、切磋琢磨することで、常に向上心をもって物事に向かうことが出来るようになりました。



福本巧磨さん (2022年3月卒業)

岐阜県森林組合連合会

●どんな仕事をしていますか？

グラッブルを使い、運ばれてきた木材の荷降し、工場別の仕分け、積み込みを主に行っています。また、原木の競りが行われる市日の前には樹種や径級、品質ごとに並び替える植積み作業を行っています。

●アカデミーで得た学び

授業での実践的な重機操作は今の仕事内容に直結し、とても役に立っています。樹木同定の授業ではそれぞれの特徴を覚え、いまでも広葉樹の材の見分けに活かすことが出来ています。



田口木乃霞さん (2022年3月卒業)

宇都宮大学 農学部 森林科学科(3年次編入)

●どんなことを学んでいますか？

林業や農業、木材組織、生物、物理、植物、土壌など、森林に関わる様々な分野を学んでいます。今は木材材料学研究室に所属し、日本の早生樹であるキリの材質を研究しています。

●アカデミーで得た学び

林業の現場技術を身につけたことが、大学でも役に立っています。大学では実際に林業機械を使う機会がないものの、周りの友達に経験を伝えることができました。また、環境教育のボランティアや林業のアルバイトをしており、刈払機やチェーンソー、グラッブルを使うことができるため活動の幅を広げられました。アカデミーにおいて森林に関わる分野を全て、伸び伸びと学べたことが良い経験です。

* 情報は卒業時のものです。

岐阜は木の国、山の国。

岐阜県は森林率全国第2位、製材所数は1位。全国でも有数の木材の集積地。豊かな森が学びのフィールドです。さらに飛騨の家具や本美濃紙など森林資源を活用した伝統工芸も盛んです。アカデミーがある美濃市には歴史的な「うだつの上がる町並み」があります。先人の知恵を尊重し、人の工夫を加えることで、より良い暮らしにつなげます。



充実の環境・設備で学びをサポート

隣接する33haの演習林や、様々な高性能林業機械、製材機など全国の林業系学校の中でも最も充実した環境・設備。



進化する木造建築群

面格子や樹状立体トラスで構成された7,500㎡の木造校舎群。地域材利用と計画で数々の建築賞を受賞！morinosや林業機械学習棟でパワーアップする校舎。さらに学びに必要な機能や施設を自力建設で毎年増設。



「川上」から「川下」まで
森林資源の流れのすべてを学内で実現。



教員紹介



WAKUI Shiro
学長 涌井 史郎
専門分野 造園・ランドスケープデザイン
Taxus cuspidata イチイ イチイ科 イチイ属

全学生数80人に対し、
常勤教員が18人。
森と木に関わる
ユニークな専門家たち。
アカデミーだからこそ、
新しい試みや学びが
次々に生まれます。

特別招聘教授

- 隈 研吾 (建築家)
- 市川 晃 (住友林業株式会社 代表取締役会長)
- 末松 広行 (東京農業大学 農生命科学研究所教授)

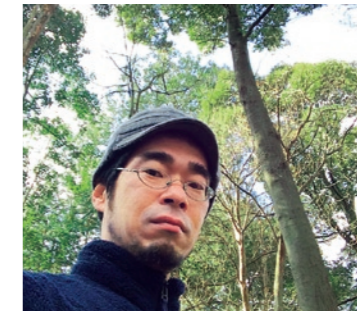
名誉客員教授

- 三澤 文子 (Ms建築設計事務所 代表取締役)

客員教授

- 扶土 秀平 (職人社秀平組 代表)
- 小田 忠信 (株式会社クインビーガーデン 代表取締役)
- 飯島 健太郎 (東京都市大学 総合研究所教授・環境学部併任教授)

超一流の講師陣が、
ユニークで高度な
学びを
提供します。



TSUDA Kaku
林業 津田 格 教授
専門分野 菌学・線虫学
きのこなどの特用林産物の利用と
森林保護。
菌を通して森林利用を考える。
Quercus serrata コナラ ブナ科コナラ属



OBORA Tomohiro
林業 大洞 智宏 准教授
専門分野 森林施業(造林・育林)
自然環境、目的に合った
森づくりを考える。
Aesculus turbinata トチノキ ムクロジ科トチノキ属



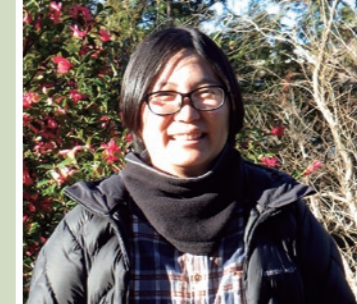
SHIOTA Masahiro
林業 塩田 昌弘 准教授
専門分野 林産、森林作業道
足しげく通える森林をつくる。
1円でも多く、木材を通して利益を得る。
汗を厭わない若者が、
安全に、心豊かに働ける現場を目指す。
Fagus crenata ブナ ブナ科ブナ属



SUGIMOTO Kazuya
林業 杉本 和也 准教授
専門分野 林業における生産システム
森林作業における生産管理
伐採搬出作業におけるシミュレーション
持続可能な林業は
森・人・組織のマネジメントから。
Alnus matsumurae ヤハズハンノキ カバノキ科ハンノキ属



NIITSU Yutaka
林業 新津 裕 准教授
専門分野 森林空間の利活用
森林獣害・森林教育
施業と森林の空間利活用から
森林の持っている価値を見直す。
Quercus acuta アカガシ ブナ科コナラ属



NAKAMORI Satsuki
林業 中森 さつき 講師
専門分野 森林生態学
森林生態系の保全と管理
Cerasus jamasakura ヤマザクラ バラ科サクラ属



YANAGISAWA Nao
森林環境教育 柳沢 直 教授
専門分野 植物生態学
里山の自然を守り、
育み、有効活用する。
持続可能社会は里山から。
Acer mono var. ambiguum オニヤシタ ムクロジ科カエデ属



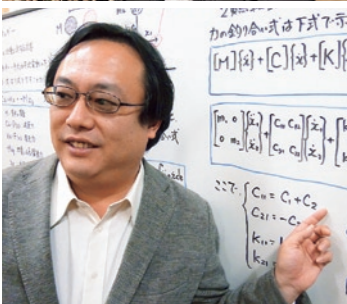
HAGIWARA Nava Yusaku
森林環境教育 萩原・ナバ・裕作 教授
専門分野 自由な遊び & 自由な学び
環境教育 インタープリテーション
森のようちえん、プレーパーク、
インタープリテーション、
パーマカルチャー。
Magnolia obovata ホオノキ モクレン科モクレン属



KOBAYASHI Kenichi
森林環境教育 小林 謙一 准教授
専門分野 コミュニケーションデザイン
環境教育・インタープリテーション
多様な人が共創する場のデザイン、
プロジェクトマネジメント。
Sapindus mukurossi ムクロジ ムクロジ科ムクロジ属



TANIGUCHI Goro
森林環境教育 谷口 吾郎 講師
専門分野 公園やビジターセンターの管理運営
環境教育・インタープリテーション
森・自然と人が出会う場として
自然公園・都市公園の在り方を探る。
Acer sieboldianum コハチウカエデ ムクロジ科カエデ属



KOHARA Katsuhiko
木造建築 小原 勝彦 教授
専門分野 木造建築構造、
建築振動、住育
伝統構法～新構法の
木構造を専門とし、
IT技術との融合に取り組んでいます。
Zelkova serrata ケヤキ ニシキケヤキ属



TSUJI Mitsutaka
木造建築 辻 充孝 教授
専門分野 木造建築設計・温熱環境・
省エネルギー
木を活かす建築設計、
健康・快適性向上の温熱環境計画、
省エネ計画が専門。
Lindera triloba シロモジ クスノキ科クモシ属



YOSHINO Anri
木造建築 吉野 安里 准教授
専門分野 木材利用
き(木・気)づかい、
き(木・気)くばり。
Betula platyphylla シラカバ カバノキ科カバノキ属



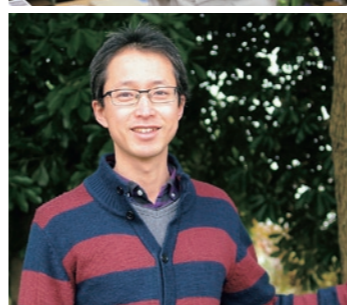
MATSUI Takumi
木造建築 松井 匠 准教授
専門分野 木造建築設計、空き家対策、
グラフィックデザイン
木組の家づくり、古民家の改修、
絵を描くことによる審美眼教育。
Acer pycnanthum ハナノキ ムクロジ科カエデ属



ISHIHARA Wataru
木造建築 石原 亘 講師
専門分野 木材利用、木材加工技術
木材のある暮らし、
木材と人との関わり、
一緒に考えていきましょう
Broussonetia kazinoki x B. papyrifera コウゾクワ科コウゾ属



KUTSUWA Masashi
木工 久津 輪 雅 教授
専門分野 木工
グリーンウッドワーク(生木の木工)、
伝統工芸の原材料確保と
後継者育成支援。
Quercus crispula ミズナラ ブナ科コナラ属



MAENO Ken
木工 前野 健 准教授
専門分野 木育・木工・
木製玩具の企画・開発
木工と木育。おもちゃや遊び、
モノ作りを通して、街と森をつなぐ。
Sciadopitys verticillata コウヤマキ コウヤマキ科コウヤマキ属



WATANABE Kei
木工 渡辺 圭 講師
専門分野 木工・家具製作
家具作り、木工ワークショップを通じて
木材利用、地域材の活用を考える。
Lindera obtusiloba ダンコウバイ クスノキ科クモシ属

入学金・授業料

	入学手続き時	前期	後期	計
入学金	169,200円	—	—	169,200円
1年時授業料	—	59,400円	59,400円	118,800円
2年時授業料	—	59,400円	59,400円	118,800円
合計	169,200円	118,800円	118,800円	406,800円

給付金制度

岐阜県緑の青年就業準備給付金

卒業後、林業分野※1へ就業し(就業時年齢45歳未満)、その中核を担うことに強い意志を持っている者に対し、在学期間中、1年間に上限125万円(最大2年間)を準備金として給付する岐阜県の制度です。

対象となる就業先業種※1

- | | | | |
|----|-------------|-----|----------------|
| 林業 | 1. 育林業 | 林業 | 1. 育林従事者 |
| | 2. 素材生産業 | 従事者 | 2. 伐木・造材・集材従事者 |
| | 3. 特用林産物生産業 | | 3. その他の林業従事者 |
| | 4. 林業サービス業 | | |
| | 5. その他の林業 | | |

※ 詳しくは岐阜県公式ホームページ「岐阜県緑の青年就業準備給付金について」をご覧ください。
 ※ 記載した奨学金制度・給付金制度は令和6(2024)年度の予定であり、変更される場合があります。

高等教育の修学支援(日本学生支援機構)

対象 住民税非課税世帯・それに準ずる世帯の学生
支援内容 授業料・入学金の免除または減額+給付型奨学金の受給
 ※本校は、高等教育の支援制度の対象校に認定されています。

大垣共立銀行 森林文化アカデミー奨学金

支給額 年額 108,000円 対象者 1年生(1名)
 支給期間 2年間

岐阜信用金庫 森林文化アカデミー奨学金

支給額 年額 108,000円 対象者 1年生(1名)
 支給期間 1年間(1年時のみ)

十六銀行 森林文化アカデミー奨学金

支給額 年額 108,000円 対象者 1年生(1名)
 支給期間 2年間

美谷添奨学金

支給額 年額 100,000円 対象者 2年生(1名)
 支給期間 1年間(2年時のみ)

※ 1学年次に岐阜信用金庫奨学金を受給した者

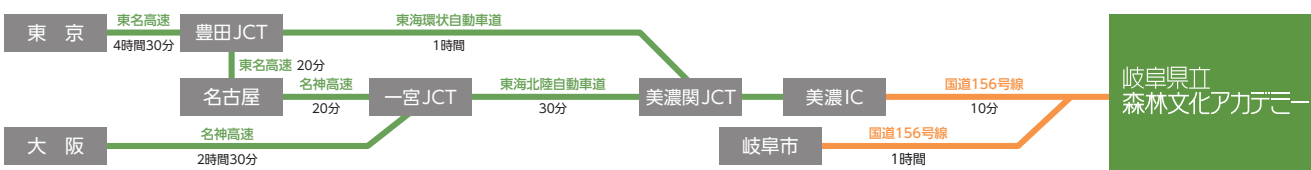
市町村連携学生支援制度

森林文化アカデミーが連携協定を結んでいる市町村から、条件付返還免除のある授業料無利子貸付など多数の学生支援制度が設置されています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

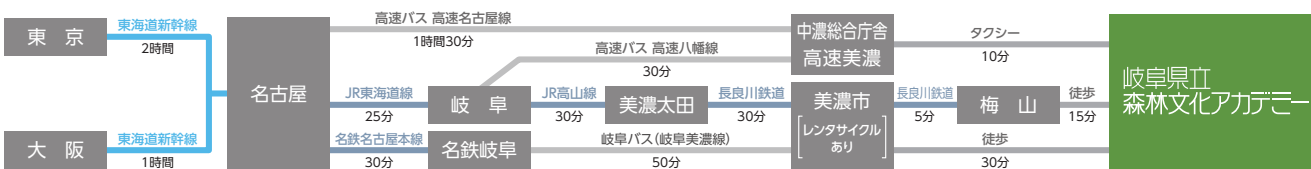


Access

自動車



公共交通機関



GIFU ACADEMY OF FOREST SCIENCE AND CULTURE 岐阜県立森林文化アカデミー

〒501-3714 岐阜県美濃市曾代88番地
 TEL 0575-35-2525 FAX 0575-35-2529
 E-mail info@forest.ac.jp

ウェブサイト Web site

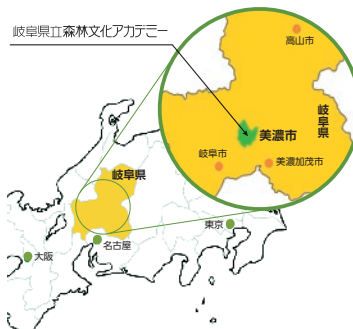
森林文化アカデミーについてもっと詳しく！学校のポリシー、入試情報、授業の様子や卒業生インタビューなど内容充実のHPです。

<https://www.forest.ac.jp/>

Facebook YouTube



岐阜県立森林文化アカデミー



募集要項の請求

メール、電話等にて森林文化アカデミー事務局まで請求(無料)してください。または、アカデミーホームページから様式をダウンロードしてください。